くまもとの農業概要

2020



1. 熊本県の概要

熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれています。

また、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川、白川、緑川、球磨川などの一級河川が菊池平野、熊本平野、八代平野を潤しています。

■ 熊本県の概要

面 積		7409.45 km²	国土地理院「令和元年10月1日現在」
人口		1,744,341 人	令和2年2月1日 推計人口
	男	824,531 人	
	女	919,810 人	
世帯数	Ż	725,596世帯	
県内総生産	額	5兆9389億円	県「平成 28 年度県民経済計算」
気 象	平均気温	16.9 ℃	熊本地方気象台(熊本市・平年値)
	年間降水量	1, 985.8 mm	熊本地方気象台(熊本市・平年値)

■ 熊本県の自然

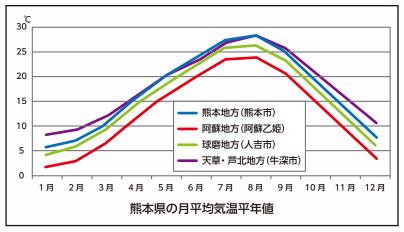
熊本県は九州の中央部にあり、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれています。県内には菊池川、緑川、球磨川といった一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれています。

本県は天草地方の温暖な海岸島しょから中央部の熊本平野、八代平野等を越えて高原地帯である阿蘇地域といった、豊かな自然の恵みを背景に、米、野菜、果樹、畜産物等、多彩な農産物が生産できる、恵まれた農業立地条件を有しています。

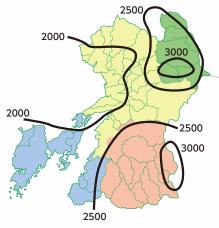
● 気象条件

本県は三方を山に囲まれているため、天草地方を除いては、全体的に内陸性の気候となっています。平地の平均気温は16℃前後と高いものの、夏は暑く冬は寒い内陸性気候となっています。球磨地方の平均気温は13~15℃で人吉盆地を中心とした内陸的な気候と山地型の気候となっています。阿蘇地方の平均気温は13℃前後で、夏は涼しいですが、冬は寒さが厳しい型の気候となっています。また、天草地方の平均気温は16℃~18℃と比較的温暖な気候となっています。

月平均気温平年値(熊本地方気象台)



年間降水量分布図(ミリ)



降水量は、熊本県は九州山地の西側にあたるため、東シナ海から入ってくる暖かく湿った空気が入りやすく、大雨や集中豪雨が発生しやすいところです。年間の降水量は、阿蘇地方や球磨地方で多く、特に阿蘇山付近では3,200mに達します。その豊富な雨が大地を潤し、熊本の水資源となっています。平野部でも2,000mm前後の雨が降ります。

● 土壌

阿蘇地域の黒ボク土、球磨地域の褐色森林土、平野部の灰色低地土、天草地域の赤黄色土に大別されます。

2. 熊本県農業の概要

熊本県の農業の特徴は、熊本平野、八代平野の平坦地から、阿蘇地域などの高冷地、天草・芦北の海岸島 しょなどの多様な地形や気候を活かした、野菜や花き、果樹などの園芸作物や、乳用牛などの畜産、米、い 草、葉たばこ、茶等の工芸作物まで、多彩な農産物が生産できることにあります。

特に、トマト、すいか、メロン、かんきつ類、宿根カスミソウ、い草、葉たばこ等は全国でもトップレベルの生産量を誇ります。

農業生産の主要な担い手である「認定農業者」は、全国第3位、基幹的農業従事者数は全国第5位となっています。また、平成30年の農業産出額は全国第6位、生産農業所得は全国第6位となっています。

また、令和元年度の新規就農者数は241人となっており、うち新規参入者は152名と平成30年度より10 名増加しています。

	H30	(2018)	H29	H28	H27	H26	H25
1	北海道	12,593億円	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道
2	鹿児島	4,863億円	鹿児島	茨城	茨城	茨城	茨城
3	茨城	4,508億円	茨城	鹿児島	鹿児島	鹿児島	千葉
4	千葉	4,259億円	千葉	千葉	千葉	千葉	鹿児島
5	宮崎	3,429億円	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	熊本
6	熊本	3,408億円	熊本	熊本	熊本	熊本	宮崎



3. 熊本県内地域ごとの農業の特色

【熊本市】

県のほぼ中央に位置し、市街地を中心とする都市地域、東部から北部にかけての畑台地地域、北西部を中心とする金峰山麓地域、南西部に位置する水田平坦地域の4地域に区分され、各地域ともその特性を活かした農業が営まれています。

北部の畑台地地域では、すいか、メロン等の施設野菜、北西部を中心とする金峰山麓地域では、うんしゅう みかん等の果樹、南西部の水田平坦地域では、トマト、ナス等の施設野菜や露地野菜、東部の畑台地地域では 肥育牛、酪農、熊本市中心部では花き栽培が行われています。

【宇城地域】

海岸半島地域、平坦地域及び中山間地域といった変化に富んだ立地条件を活かし、野菜、花きなどの施設園芸をはじめ、果樹、米、畜産等、多彩な農業生産活動が展開されおり、特にメロン、きゅうり、不知火類(デコポン)、ぶどう、鉢物類(洋ラン)等の生産量は、県内第1位となっています。

【玉名地域】

県の北西部に位置し、福岡県に隣接しています。有明海に面した平坦水田地域、金峰山や小袋山の山麓地域 及び北東部の中山間地域の3地域に大別されます。

平坦水田地域には、トマト、いちごなどの施設園芸や水稲、山麓地域や中山間地域では、うんしゅうみかん、ナシなどの果樹や畜産など多彩な農業生産が行われています。

【鹿本地域】

県の北部に位置し、北は福岡県に隣接しています。北部県境の筑紫山麓を中心とした中山間地域、中部菊池川流域の水田平坦地域、南部を中心とした畑台地地域の3つの地域に大別されます。中山間地域では、果樹、茶、花き、タケノコ等が、平坦地域では、水稲、すいか、イチゴ、アスパラガス等の施設園芸や畜産などの農業生産が行われています。

【菊池地域】

県の北東部に位置し、東部の一部並びに北部は阿蘇外輪山系に接する中山間地域、西部並びに南部は菊池川・ 白川の流域に広がる平野・台地からなる自然豊かな地域です。

旭志、泗水では酪農や肉用牛など県内有数の畜産地帯を形成し、平坦地域では水稲をはじめ水田ゴボウの産地で、台地、平野部の大津・菊陽ではニンジン、カンショの産地となっており、県内有数の農業生産地域となっています。

【阿蘇地域】

九州のほぼ中央に位置し、阿蘇五岳をはじめ世界最大のカルデラやそれを囲む外輪山、さらには広大な草原や森林などが広がる豊かな自然に恵まれた地域です。

夏季の比較的冷涼な気候と広大な農地を活かした、夏秋トマトやほうれん草などの施設栽培、だいこんやキャベツなどの露地栽培、トルコギキョウ、バラ、リンドウなどの花き栽培、恵まれた草資源を活かした肉用牛、乳用牛など多彩な農業生産が行われています。また、平成25年5月には、「阿蘇の草原の維持と持続的農業」が世界農業遺産に認定されました。

【上益城地域】

熊本県のほぼ中央に位置し、西は熊本市に接する温暖な平坦地域から東は県境の九州山地と接する冷涼な中山間地域からなり、地形的にも気象的にも変化に富んだ地域です。

平坦地域では、米、麦、大豆の土地利用型作物や葉たばこ、すいかなどの施設野菜や花きなどが、中山間地域では、夏季冷涼な気候を活かして、トマト、キャベツなどの夏秋野菜を中心に、米、茶、ブルーベリー、くりなど果樹や花きなどの農産物が生産されています。

【八代地域】

県のやや南部に位置し、八代海と九州山地との間にあり、東西に流域を持つ球磨川と氷川流域に形成された、 沖積及び干拓による広大な平野を有する平坦地域と九州山地に連なる起伏の激しい地形の中山間地域からなっ ています。

平坦地域においては、いぐさ、米、トマトやメロン・いちご等の施設野菜、キャベツ、レタス、ばれいしょ等の露地野菜の大規模経営が行われ、中山間地域においては、しょうが、茶、ナシ、晩白柚、花きなど立地条件を活かした特色ある多様な農産物が生産され、いぐさ、トマトは全国第一の産地となっています。

【芦北地域】

県南部に位置し、温暖な気候を活かして全国有数のJAあしきたの不知火類(デコポン)、甘夏みかん等の柑橘類を中心に、早生たまねぎ(サラたまちゃん)や肉用牛、米、茶など多彩な農業生産が展開されています。特に、果樹については、八代海に面した海岸地帯に県内でも有数の中晩柑類の産地を形成し、農業産出額の過半を果樹が占めています。

【球磨地域】

県の東南部に位置し、その中心部を3大急流の一つ球磨川が貫流した人吉・球磨盆地に広がる水田地帯を中心とする平野部と、その周辺の畑地帯からなる中山間部及び山間部が連なるなど変化に富んでいます。盆地特有の霧と寒暖の差が米、野菜(メロン、トマト、きゅうり等)、果樹(ナシ、クリ、モモ)、茶など風味と食味のある農産物を産出しています。また肉用牛、酪農などの畜産も盛んです。

【天草地域】

県の南西部に位置し、四方を海に囲まれ、上島、下島、大矢野島をはじめとする大小120余りの島々からなっています。温暖な気候を活かして、野菜(レタス、きゅうり、ミニトマト、バレイショ)や水稲(早期米)、柑橘類(不知火、ポンカン等) 花き、養豚、肉用牛などの農業が展開されています。



4. 熊本県農業の特徴

(1) 熊本県農業算出額の推移



(億円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
十点	(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)
農業産出額	3,071	3,113	3,245	3,250	3,283	3,348	3,475	3,423	3,408
米	351	409	450	403	353	360	377	380	391
野菜	1113	1085	1176	1172	1191	1273	1321	1247	1227
果実	323	321	383	384	311	263	314	318	327
花き	98	97	103	102	99	106	102	99	96
工芸農作物	115	123	114	115	119	96	87	100	90
畜産	935	956	949	996	1070	1155	1141	1147	1147

(2) H30 九州各県の農業産出額

(億円)

														(限円)
	熊	本	福岡	1	佐賀	l	長嶋	j	大 分	}	宮崎	奇	鹿児	島
1	トマト	438億円	*	429	米	281	肉用牛	259	米	248	肉用牛	768	肉用牛	1266
2	肉用牛	430億円	いちご	213	肉用牛	172	米	135	肉用牛	157	ブロイラー	696	豚	806
3	米	391億円	鶏卵	122	みかん	150	みかん	122	豚	85	豚	515	ブロイラー	693
4	生乳	265億円	生乳	82	ブロイラー	95	豚	120	生乳	76	米	178	鶏卵	263
5	豚	194億円	なす	76	いちご	85	いちご	112	ねぎ	60	きゅうり	176	米	211
6	みかん	177億円	肉用牛	73	たまねぎ	74	ばれいしょ	71	ブロイラー	59	ピーマン	115	茶(生葉)	185
7	いちご	129億円	ぶどう	69	豚	48	ブロイラー	68	鶏卵	47	鶏卵	100	かんしょ	157
8	すいか	110億円	ねぎ	54	きゅうり	31	生乳	51	みかん	35	生乳	79	荒茶	105
9	なす	100億円	みかん	51	アスパラガス	27	鶏卵	50	トイト	34	かんしょ	71	ばれいしょ	98
10	メロン	91億円	トムト	50	大豆	20	トマト	43	いちご	26	トマト	63	さとうきび	95

(3) 全国における熊本県農業の地位

7	収穫量	単位	全国順位	九州順位
米	175,500	t	16位	2位
	,			
だいこん	25,800	t	12位	4位
かぶ			I	
にんじん	18,200	t	8位	2位
ごぼう	3,450	t	9位	3位
れんこん	2,040	t	6位	2位
ばれいしょ	12,800	t	10位	3位
さといも	5,510	t	8位	3位
やまのいも				
はくさい	16,000	t	13位	4位
こまつな				
キャベツ	40,900	t	9位	2位
ちんげんさい	720	t	12位	2位
ほうれんそう	6,590	t	10位	3位
ふき	•••			
みつば	•••			
しゅんぎく	182	t	25位	2位
みずな	•••			
セルリー				
アスパラガス	1,950	t	4位	2位
カリフラワー	2,160	t	2位	1位
ブロッコリー	4,650	t	11位	3位
レタス	16,800	t	9位	3位
ねぎ	4,370	t	27位	4位
にら	1,270	t	11位	3位
たまねぎ	10,400	t	8位	3位
にんにく	310	t	7位	2位
きゅうり	13,000	t	14位	2位
かぼちゃ	2,150	t	16位	4位
なす	31,700	t	2位	1位
トマト	137,200	t	1位	1位
ピーマン	3,320	t	8位	4位
スイートコーン	•••			
さやいんげん	753	t	13位	2位
さやえんどう	•••			
グリーンピース	262	t	3位	2位
そらまめ	378	t	6位	2位
えだまめ	•••			
しょうが	5,410	t	2位	1位
いちご	11,200	t	3位	2位
メロン	22,100	t	2位	1位
すいか	46,900	t	1位	1位
※平成30年度 農業水產	音			





	収穫量	単位	全国順位	九州順位
うんしゅうみかん	90,400	t	4位	1位
くり	2,570	t	2位	1位
いぐさ	7,070	t	1位	1位
宿根カスミソウ	2,496	千本	1位	1位
トルコギキョウ	1,080	千本	2位	1位
葉たばこ	2,664	t	1位	1位
肉用牛	2,450	頭	4位	3位
乳用牛	42,800	頭	3位	1位

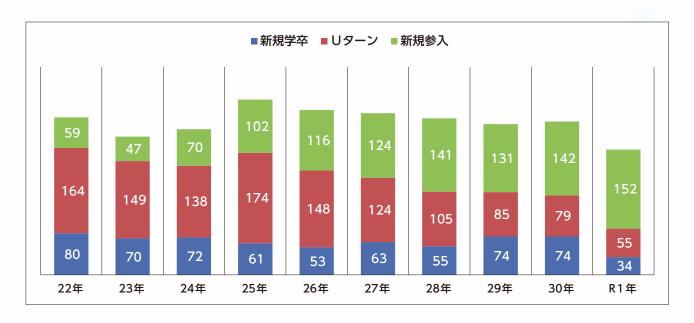






5. 熊本県新規就農者数の推移

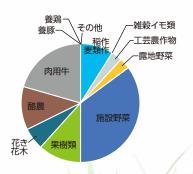
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年
	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
新規学卒	125	121	113	96	83	86	80	70	72	61	53	63	55	74	74	34
Uターン	133	135	87	105	65	95	164	149	138	174	148	124	105	85	79	55
新規参入	9	21	20	23	11	32	59	47	70	102	116	124	141	131	142	152
計	267	277	220	224	159	213	303	266	280	337	317	311	301	290	295	241



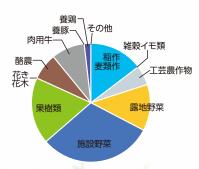
■ 新規就農者の経営類型

区分	稲作麦類作	雑穀イモ類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き花木	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他	計
新規学卒	3	0	1	1	12	4	2	4	7	0	0	0	34
Uターン	8	0	3	7	17	10	0	4	5	0	1	0	55
新規参入	8	2	4	45	59	14	3	4	6	0	0	7	152
計	19	2	8	53	88	28	5	12	18	0	1	7	241
構成比 (%)	8.6%	0.9%	3.6%	24.1%	40.0%	12.7%	2.3%	5.5%	8.2%	0.0%	0.5%	3.2%	100.0%

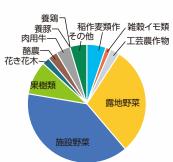




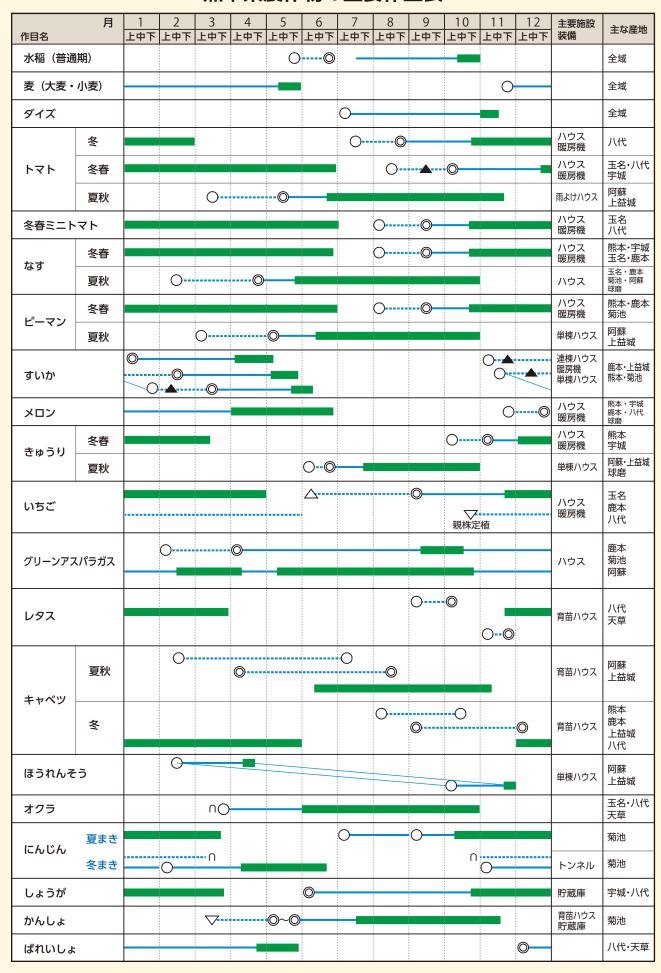
Uターン

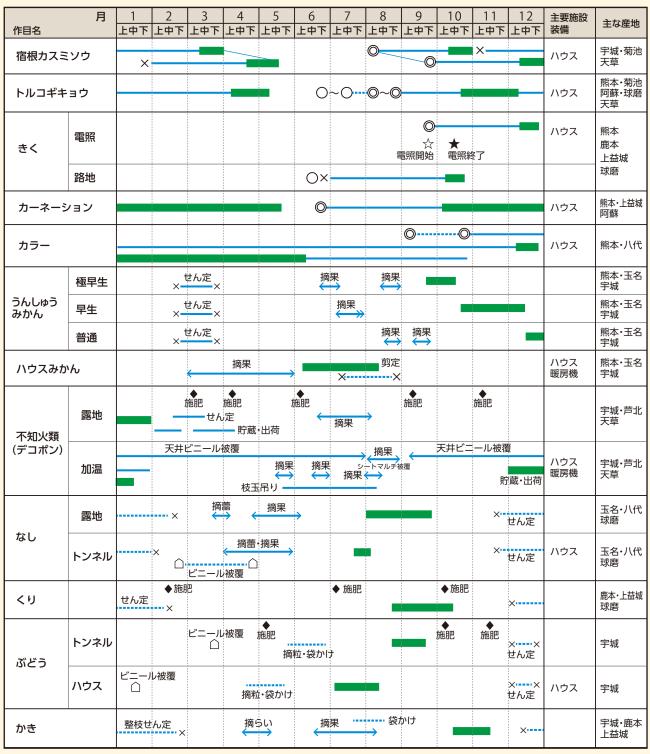


新規参入



熊本県農作物の主要作型表





凡例: ○播種 △仮植 ▲接ぎ木 ◎定植 ■■■収穫

就農相談等の問い合わせ先一覧表

	名	称	所 在 地	電話番号	FAX番号
支援セン	(公財)熊本県農業公社	新規就農支援センター	862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目 18-1 (県庁本館 10 階)	096-385-2679	096-213-1239
支援センター熊本県新規就農	(一社)熊本県農業会議	農政・担い手対策課	862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目 18-1 (県庁本館9階)	096-384-3333	096-385-1468

	農林水産部 生産経営局 農地・担い手支援課	862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1 (県庁本館9階)	096-333-2365	096-382-6934
	県央広域本部農業普及・振興課	860-0831 熊本市中央区八王寺町 1-20	096-273-9673	096-273-9693
	県央広域本部宇城地域振興局農業普及・振興課	869-0532 宇城市松橋町久具 400-1	0964-32-2119	0964-32-0373
	県央広域本部上益城地域振興局農業普及・振興課	861-3206 上益城郡御船町辺田見 396-1	096-282-3010	096-282-0303
熊	県北広域本部農業普及・振興課	861-1331 菊池市隈府 1272-10	0968-25-4279	0968-25-5401
本	県北広域本部玉名地域振興局農業普及・振興課	0968-74-2135	0968-74-2194	
4	県北広域本部鹿本地域振興局農業普及・振興課	0968-44-2118	0968-44-2134	
県	県北広域本部阿蘇地域振興局農業普及・振興課	869-2612 阿蘇市一の宮町宮地 2402	0967-22-1115	0967-22-3563
	県南広域本部農業普及・振興課	866-0811 八代市西片町 1660	0965-33-3509	0965-33-4540
	県南広域本部芦北地域振興局農業普及・振興課	869-5461 葦北郡芦北町芦北 2670	0966-82-5194	0966-82-2373
	県南広域本部球磨地域振興局農業普及・振興課	868-0072 人吉市西間下町 86-1	0966-24-4117	0966-24-4144
	天草広域本部農業普及・振興課	863-0013 天草市今釜新町 3530	0969-22-4262	0969-22-5054
	農業大学校 研修部	861-1113 合志市栄 3805	096-248-6600	096-248-4432

各地域就農支援アドバイザーへの相談は、それぞれの地域の農業普及・振興課にご連絡ください。 この他、各市町村等の農業担当窓口、農業委員会、各農業協同組合等へもお気軽にご相談ください。

熊本県新規就農支援センター 事務局 (公財) 熊本県農業公社 新規就農支援センター

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号(熊本県庁本館10階)